

## 平成28年度事業計画及び収支予算について

平成28年度事業計画及び収支予算について別紙のとおり定める。

平成28年3月25日提出

公益財団法人 石川県林業公社

理事長 中村 義孝

# 平成28年度 公益財団法人石川県林業公社事業計画書

## 1 基本方針

石川県林業公社は、昭和41年に発足以来、国、県の森林整備目標に沿って分収方式により計画的に森林整備を推進してきたところである。

設立当初に植栽した森林は、すでに10齢級になるなど、年々森林資源が充実して全体では8齢級以上の森林が過半数を占め、また、除伐や枝打ち等の保育が必要な森林も依然として存在していることから、間伐事業の取組強化や保育事業の充実が求められている。

しかし、木材価格の低迷、労務単価の上昇や借入金の利払いなど公社の経営状況は依然、厳しいものがある。

このため、効率的な事業の実施に努めるとともに、分収比率の見直しの推進や経営改善に取り組むこととし、引き続き造林事業の維持・管理に努めるものとする。

白山林道については、利用料金の引き下げ効果などにより、利用台数は回復しつつあるものの利用料収入の減少が続いていることから、収入確保に向けて一層の利用拡大に努めるものとする。

### (1) 造林事業

#### ア 分収造林事業

合理的な路網整備や高性能林業機械による効率的、計画的な利用間伐を推進するため、平成24年度までに331団地13,731haの公社造林地について森林経営計画を策定しており、今年度も引き続き造林地の生育状況に応じた利用間伐等を実施し、計画的な森林整備を行う。

また、経営改善の最重要課題である分収比率見直しの契約変更の見込みについては、平成27年度末現在で公的機関も含めた進捗は、契約面積全体(13,731ha)の91.5%となっており、引き続き土地所有者の理解を得ながら全ての契約完了に向けて取り組みを進める。

イ 公社有林管理事業

公社有林については、森林の公益的機能の保全及び地域モデル林の造成等を目的として、昭和48年度から平成14年度までに県内6市町で475haを取得し、森林整備を進めてきている。

今年度は、白山市白峰地区の宮谷団地で間伐を行うものとする。

ウ 県営林管理受託事業

石川県からの委託を受け、県営林の保育管理を適切に実施する。

(2) 白山林道管理事業

白山白川郷ホワイトロードの利用者の安全を最優先に、快適なドライブが楽しめるよう、的確な管理・運営に努めるものとする。

また、ふるさと林道整備事業の受託により、岩盤や建造物の劣化が著しい箇所安全対策工事を実施する。

誘客対策については、県、白山市や地元関係団体と連携し、各種イベント等の充実を図り、利用台数の増加に努めるものとする。

(3) 分収育林事業

県下3地区の分収育林地については、適期に枝打ち・間伐等の保育事業を実施してきた。

保育事業については、すべて終了し今後は、主伐に向けた適切な管理に努めるものとする。

## 2 事業計画

事業名	事業量	事業費 千円
ア 分収造林事業		1,095,388
(ア) 保育費		314,859
利用間伐	306.63 ha	176,953
保育間伐	14.44 ha	3,431
枝打ち	72.14 ha	37,053
森林作業道開設	39,340.00 m	70,812
路網改良等	2,061.00 ha	16,610
林業専用道 (H27年度繰越明許)	1路線	10,000
(イ) 管理費	事務費、職員給等	120,214
(ウ) 経営改善費	元利償還金	660,315
イ 公社有林管理事業	利用間伐 5.53 ha	2,975
ウ 県営林管理受託事業	植栽、間伐等 108.00 ha	91,474

事業名	事業量	事業費
		千円
エ 白山林道管理事業		181,142
(ア) 施設維持	林道の除雪、維持作業等	34,474
(イ) 管理費	職員費、元利償還、事務費等	146,668
オ 白山林道リフレッシュ事業	転落防止柵           81.00 m	2,538
カ ふるさと林道整備受託事業	法面保護工等       340.00 m	97,650
キ 分収育林事業	森林国営保険料	42
合 計		1,471,209

平成28年3月25日 提出

公益財団法人石川県林業公社

理事長 中村 義孝